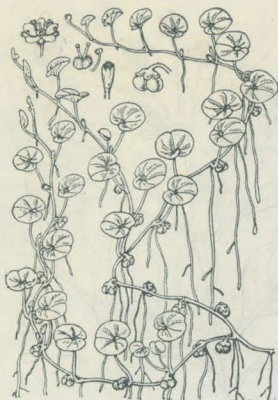


第 3371 図

ひるがお科



第 3372 図

ががいも科



第 3373 図

ががいも科



あおいごけ

Dichondra repens Forst.

暖地の路傍などに見られるごく小形の多年生草本である。茎は細く地をはい、節から根を下してはびこる。葉は互生し、高さ0.5-4cmの細い柄があり、葉身はやや平たい円形、円頭又は僅かに凹頭で基は深い心臓形をなし、小形で長さ4-20mm巾5-25mm、少し毛がある。春夏、葉腋から短い梗を出し、黄色の小花を開く。萼片は5個、長楕円形で毛が多い。花冠は径3mm許、5深裂し裂片は長楕円形で萼片より少し短い。5雄蕊、2花柱。蒴果は下へ向き、円い2個の分果がならび毛が生えている。和名は葉形が葵(フタバアオイ)に似、全草が小さく地を密におおう様子が苔の類に似ているので名付けられた。

つるもうりんか

Tylophora Tanakae Maxim.

九州・琉球の暖地に生ずる蔓性草本である。茎・葉柄及び葉下面には上方へ曲った毛が多く生えている。葉は対生し短い柄があり、卵形又は楕円形で先は急に短く尖り、基は円いか又は浅い心形をなし、質はやや厚く、長さ3-7cm、巾1.5-4cm。夏、葉腋から柄を出し、やや繖状に多くの花をつける。花梗は糸状、萼は5深裂して少し毛がある。花冠は淡黄緑色で径6-8mm、裂片は披針形で先は鈍頭、少し振れて平開する。花心に雌雄蕊が合体した小形の蕊柱がある。蒴は大きく細長い紡錘状で、内に白い絹糸状の冠毛をもった沢山の種子がはいっている。

あおかもめずる

Cynanchum ambiguum Matsumura

我国の中南部に見られる宿根生の蔓草である。茎は細長く他物にまつわり、殆ど無毛である。葉は対生し短い柄があり、長卵形乃至線状長楕円形で先は短く尖り基はごく浅い心形をしていて、縁辺近くや主脈上にだけ微細な毛があり、長さ3-8cm巾5-25mm。8-9月頃、葉腋に聚繖花序をして帯黄緑白色の小花を開く。萼は長さ約2mm、5深裂し裂片は披針形である。花冠も5深裂し、裂片は長さ約4mm、長卵状で先端は長く尾状にのびて少し振じれ、内面に細毛を密生している。花の中央に蕊柱がある。和名はカモメズルに似て花が緑白色であるので名付けられた。

おおとらわた

Asclepias syriaca L.
(= *A. Cornuti Decne.*)

北米原産の多年生草本で、地下に横走る短い根茎があり、それより数茎を立てて高さ1-1.5mに達する。茎は直立して円く緑色、疎に軟短毛があり、葉は対生し、広楕円形で、全縁、先端は尖り、基部は円く短柄があり、やや蒼白色を帯び、葉裏に軟短毛を布く。夏日、梢葉の腋より長梗を出し、梗頂に繖形をなして多数の紅紫花を繖状に配列する。花は細長なる梗を有し、長さ3-4cm許、緑色萼は深裂して5片となり、花冠は長さ5mm許、5深裂して反曲し、蕊冠は紅紫色を呈する。和名は大唐綿の意。

ぼしくるもん

Apocynum venetum L.
var. *Basikurumon Hara*

我国北部の日本海に面した海岸岩場に稀に産する多年生草本。根茎は木質で、茎は高さ25-80cm強靱で無毛、よく分枝する。葉は主茎では互生するが枝ではほぼ対生し短い柄があり、披針状長楕円形、先は鈍頭で凸端、基はやや円く、縁にはきわめて微細な硬い小突起があり、長さ2-5cm巾7-15mm、無毛である。夏、茎の先に円錐花序をつけ紫紅色の小花を開く。花梗と萼にわずかに細毛がある。萼は5深裂し、花冠は長さ6-7.5mm、狭い鐘形で5裂し、微細な乳頭状突起を密布し、裂片は楕円形で長さ3mm許。花筒内に5雄蕊と1雌蕊がある。バシクルモンは本植物のアイヌ名である。

ちしませんぶり

Swertia tetrapetala Pallas

北海道以北シベリアの寒地草原に産する1-2年生の草本で、全体無毛である。茎は高さ8-30cm、通常枝をうつ。葉は対生し基部のものを除き柄なく、披針状卵形で先はとがり、長さ1.5-4cm、質はうすい。夏、枝の先にやや円錐状に花をつける。花は4数で、萼はもとまで4裂し、裂片は披針形である。花冠は径1cm内外、もとまで4裂し、裂片は平開し、卵状長楕円形でやや鈍頭、淡青碧色で上部に暗碧色の細点があり、ほぼ中央に長楕円形の蜜腺があり、その両縁には乳頭状の突起がならんでいる。4雄蕊、1雌蕊。和名はセンブリに近く、千島で見出されたので名付けられた。

第 3374 図

ががいも科



第 3375 図

きょうちくとう科



第 3376 図

りんどう科

